



中央会事業より

会計監査セミナーを県内3会場で開催

組合の会計監査は、一連の会計手続や組合が公表する財務諸表が適正に処理されたものか等を検討し、不正や虚偽の発生を未然に防ぐための重要な業務です。

そこで本会では、2月2日(火)の横手市を皮切りに、大館市、秋田市の3会場で「会計監査セミナー」を開催し、会員組合の役職員延べ55名が出席しました。

講師を務めた税理士法人RINGSの三浦昌貴税理士からは、監査の目的や監事の役割・責任のほか、会計監査を行う際の具体的手順や留意点について解説がなされ、「会計監査を実施する際は、決算書の数字から読み取れないことを予め調査することが大切である。例えば、『定款』では会計に関する内容も定められており、定款や総会・理事会議事録の事前確認など、監査実施前の予備調査も併せて行ってほしい。」とアドバイスがありました。



[セミナーの様子(秋田会場)]

—『監事監査の手引き』を是非ご活用下さい！—

本会では、組合における会計監査が円滑に実施できるよう、『監事監査の手引き』を作成しています。ご希望の方は、本会商業振興課までお問い合わせ下さい。

<内容> ▶監事監査の概要 ▶監査手順 ▶監査Q&A ▶会計監査チェックシート

[お問い合わせ先] 本会 商業振興課 ☎018-863-8701



決算書の分析で見えてくる「企業力」を学ぶ ～青年部研究会事業を開催～ (秋田県電機商業組合 青年部)

地域の家電販売店は、大手量販店の出店やインターネット等による通信販売が増加し、非常に厳しい経営を強いられており、今まで以上に経営者としてのスキルの向上が求められています。

そこで、昨年7月に設立した秋田県電機商業組合青年部(住谷達部長)では、企業の強みや弱みを決算書の分析により把握できる能力を習得するため、2月9日(火)、秋田市の「イヤタカ」において「第2回青年部研究会事業」を開催し、青年部員など15名が出席しました。

講師を務めたアーセプトコンサルティング株式会社の長谷川晃取締役からは、「企業力」を読み取る指標の一つとして、売上総利益(粗利益)の重要性について決算書の具体的な数字を交え説明があり、併せて「自社の売上総利益率(粗利率)の割合を高めていくための工夫が大切であり、企業経営の醍醐味でもある。」とアドバイスがあり、出席者は即座に実践できる内容を書き留め、真剣な表情で聞き入っていました。

当青年部では、今後も本会事業を活用した研修会の開催等を通じ、青年部活動の強化を図っていくこととしています。



[第2回事業の様子]

平成27年度情報連絡員会議を開催

本会では、会員組合役職員の中から、業種別・地域別に配慮しながら80名を情報連絡員として委嘱し、毎月寄せられる景況情報を「景況レポート」として取り纏め、本誌や本会ホームページを通じ情報提供を行っています。

2月23日(火)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、「平成27年度情報連絡員会議」を開催し、情報連絡員34名が出席しました。

第一部では、野見山浩平日本銀行秋田支店長より「内外の経済情勢と県内企業への期待」と題し講話が行われ、金融緩和施策による経済効果や、製品・サービスの高付加価値化、連携の推進等による県内企業の活性化への期待が述べられ、参加者は熱心に聴講しました。

また、第二部の意見交換では、情報連絡員より各業界における課題、補助金を活用した展示会出展やイベント実施の事例などが紹介されたほか、業種を超えた連携に向けた意見等も出され、有意義な情報交換の場となりました。

本会では、今後も情報連絡員を通じ県内各業界の景況を的確に捉え、会員組合・組合員企業に対し適切な支援を行ってまいります。



[講演する野見山支店長]

■新たな年の始まりを盛大に祝う ～平成28年新春講演会が開催～

(秋田県鐵構工業協同組合・一般社団法人秋田県溶接協会)

2月5日(金)、秋田市の「秋田ビューホテル」において秋田県鐵構工業協同組合(藤澤正義理事長)並びに一般社団法人秋田県溶接協会(戸田直人会長)の平成28年新春講演会が開催され、三浦廣巳秋田商工会議所会頭をはじめとする来賓や関係者など70名が出席し、本会からは伊藤邦夫専務理事が出席しました。

当日は、時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏を講師に招き、『揺れ動く内外情勢とこれからの政治経済』をテーマに、田崎氏が長年の政治取材活動で培った確かな情報をもとに、政治家にまつわるエピソード等を交え、明瞭かつ分かり易い語り口で講演がなされ、大変有意義な講演会となりました。

引き続き、新年会が開催され、藤澤理事長による開宴挨拶に続き三浦会頭より祝辞が述べられた後、戸田会長の乾杯で宴に入り、終始親しく情報交換する場面が随所に見られ、新たな年の始まりを盛大に祝いました。



[新春講演会の様子]

■事業継続計画(BCP)の概念や策定手法を学ぶ

～実効性のある事業継続計画(BCP)策定手法セミナーが開催～

(協同組合秋田卸センター)

東日本大震災では、多くの企業が被災し業務が中断した一方で、緊急時の業務継続計画を事前に準備していた企業は、影響を最小限に食い止め早期復旧を果たしました。

このように、企業活動ではリスクマネジメントが重要であるため、協同組合秋田卸センター(桑原功理事長)では1月25日(月)、秋田市の「当センター会議室」において「実効性のある事業継続計画(BCP)策定手法セミナー」を開催し、組合員21名が出席しました。

当セミナーは、去る1月18日に秋田県並びに本会をはじめとする商工団体と保険会社により締結した「秋田県内の事業者に係る事業継続計画(BCP)策定支援に関する協定」を受け開催され、講師を務めた東京海上日動火災保険株式会社の中塚啓二郎次長からは、BCPの概念や策定の必要性などについて、具体的な想定シナリオを交え説明がなされ、「BCPを策定する際は、初めから完璧を求めず継続的に改善していくことが重要であり、策定の過程で自社の強み・弱みを把握し共有するだけでも企業にとって大きな前進となるため、積極的に取り組んでほしい。」とアドバイスされました。



[セミナーの様子]

当組合では、今後も組合員の企業経営力の向上を図るための支援や情報提供に努めていくこととしています。

■浄化槽の整備促進と適正な維持管理に関する研修会・創立50周年記念祝賀会が開催

(秋田県環境整備事業協同組合)

1月29日(金)、秋田市の「秋田ビューホテル」において秋田県環境整備事業協同組合(大塚勝栄理事長)の「浄化槽の整備促進と適正な維持管理に関する研修会」が開催され、嵯峨良章秋田県生活環境部次長をはじめとする来賓や関係機関、組合員など146名が出席しました。

研修会では、深井力秋田県建設部下水道課長による基調講演の後、公益財団法人秋田県総合保健事業団、全国環境整備事業協同組合連合会(全国環整連)による事例発表が行われ、汚水処理施設の早期概成と浄化槽整備の信頼性向上に向けて、当組合と関係機関との連携を一層強化していくことを確認しました。

当組合は、平成23年に秋田県と「災害時におけるし尿等の収集運搬に係る協定」を締結し、平成25年には全国環整連の第39回全国大会を本県で初めて開催する等、当業界の存在意義を高める取組に力を注いでいます。

なお、研修会終了後には創立50周年記念祝賀会が開催され、当組合富樫龍紀副理事長の乾杯で宴に入り、盛大に記念の年を祝いました。

当組合では、今後も様々な目的を設定し、継続して研修会を開催していくこととしています。



[研修会の様子]

支援団体活動レポート

中小企業組合発展への貢献を誓う！ ～創立40周年記念式典が開催～ (秋田県中小企業組合士会)

2月12日(金)、秋田市の「イヤタカ」において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の創立40周年記念式典が開催され、来賓や会員など47名出席の下、創立40周年の節目を盛大に祝いました。

記念式典では、「中小企業組合士行動指針」の斉唱が行われたほか、本会の発展に尽力された秋田ハイタク事業協同組合の高橋幸廣理事長に対し、堀川会長より感謝状が授与されました。その後、来賓を代表して猿橋進秋田県産業労働部産業政策課長並びに齊藤行正全国中小企業組合士協会連合会会長より、会員及び所属組合のさらなる発展を祈念する旨の祝辞が述べられ、記念式典は滞りなく終了しました。

また、記念講演会では、株式会社小松煙火工業の小松忠信代表取締役を講師に、大仙市の花火ブランドを活用したまちづくりの取組について、詳しくご紹介いただきました。

なお、記念講演会終了後の記念祝賀会では、丸山博志全国中小企業団体中央会振興部長より祝辞が述べられた後、秋田県中央会伊藤邦夫専務理事による乾杯のご発声で開宴し、終始和やかな雰囲気の中、随所で歓談の輪が見られ、最後は田中喜久男青森県中小企業組合士会会長による中締めが行われ、盛会裡に閉宴しました。



[記念式典の様子]



[感謝状授与:高橋幸廣理事長(右)]

佐藤弘幸会長を再任 ～平成28年度通常総会が開催～

(秋田県中小企業団体事務局協議会)

2月16日(火)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)の平成28年度通常総会が開催され、会員など23名が出席しました。

通常総会では、平成27年度事業報告書及び収支決算書が承認されたほか、平成28年度事業計画及び収支予算案など、全ての議案が満場一致をもって承認・可決されました。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、佐藤会長(秋田管工事業協同組合常務理事)が再任されました。

なお、通常総会に先立ち、昨年10月に開催した視察研修の報告会が行われ、視察内容や感想が発表されました。

当協議会では今年度、会員の資質向上を図るための研修会や事務局職員同士の交流促進を目的とした事務局交流親睦会の開催により、当協議会の活動を積極的にPRすることとしています。



[再任された佐藤弘幸会長]

インフォメーション

障害者の雇用拡大について(秋田県・秋田労働局)

1月22日(金)、秋田市の「秋田商工会議所会頭室」において、佐々木定男秋田県産業労働部長並びに森岡巨博秋田労働局職業安定部長より、本会をはじめとする経済5団体の代表に対し、障害者の雇用拡大について要請がありました。

秋田労働局が昨年11月に発表した本県の「障害者雇用状況」によると、今年度の障害者実雇用率は1.84%と3年連続で過去最高となったものの、法定雇用率の2.0%には届いていないことから、県内企業における障害者の雇用促進に向けた採用職域の拡大と求人提出が求められています。

本会会員組合及び組合員企業の皆様におかれましては、県内企業における法定雇用率の達成に向けて、障害者が一人でも多く県内に就職できるよう、特段のご理解とご協力をお願い致します。



[要望書を受け取る
本会伊藤邦夫専務理事(左)]

【お問い合わせ先】 秋田県産業労働部 雇用労働政策課 就業支援班 ☎018-860-2334

－平成28年度本会通常総会開催(予定日)のご案内－

【開催日時】 平成28年6月14日(火)午後3時より

【開催場所】 秋田市「秋田キャッスルホテル」(秋田市中通一丁目3-5)

※開催日は、4月以降に開催される理事会で正式に決定されます。